

第4章 教育・文化・スポーツ 第4節 社会教育

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響											
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの											
社会教育課	実施計画ランク	事業の種類	一般	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	子ども会活動の異年齢集団による様々な遊びや生活体験・自然体験は、子どもたちが協調性、自己決定能力などを獲得する効果が期待できる。その活動を支える子ども会育成会活動は、地域の人々が子どもの健全育成に携わることを主眼としており、地域の教育力の向上に寄与している。今後継続して事業を行い、どのような支援ができるかを検討していく。	H28年度に改善した点	無	無											
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加		2,170千円	2,080千円			①「彩の国21世紀郷土かるた」所沢大会参加者数 ②5年生インリーダー研修参加者数	子ども会会員数(子ども・育成者)						各校区の子ども会会員数	H28目標値が未達成の理由・分析									
	子ども会育成事業	根拠法令		社会教育法、所沢市校区子ども会育成交付金交付要綱、所沢市子ども会育成会連絡協議会補助金交付要綱	H28予算現額												H28決算額(見込み)	実績	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析				
		事業の具体的な内容及び目的		様々な生活体験・自然体験の機会を充実させ、子どもたちの「生きる力」を育むため、子どもの自主性に基づく地域の子ども会活動の振興を図るために校区を単位に支援を行い、また各校区子ども会育成会の相互の連携・情報交換・研修及び広域的な事業を行いながら、各校区子ども会育成会を支援している所沢市子ども会育成会連絡協議会に対し、支援を行う。	2,170千円												2,080千円					①442人 ②53人	H28年度目標	H28実績	社会情勢やライフスタイルの変化により、子ども会活動に参加できない子どもや親が増えており、役員のなり手がいないなどの状況があるため。
		H27正規職員人件費		H27その他職員従事割合	0.55人												0.15人								
H28正規職員人件費		H28その他職員従事割合	4,763千円	0.00人	14,600人	14,434人																			
期間	昭和48年度～	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	0.52人	0.15人	4,459千円	0.00人	14,400人	14,400人	評価者	社会教育課長 安田 幸雄														
社会教育課	実施計画ランク	事業の種類	一般	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	市内のボーイスカウト2団及びガールスカウト2団はキャンプ等の野外活動の実施を中心に、市民文化フェアや市民フェスティバル等でも奉仕活動を行っている。また、公民館等で行われる地区文化祭にも積極的に参加している。地域のコミュニティ機能が容れ、地域の教育力低下が指摘されていることから地域の中でボーイスカウト、ガールスカウトの活動意義は大きく、今後必要な助成を継続していく必要がある。	H28年度に改善した点	無	無											
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加		180	180			①部隊数 ②団員加入人数	年間事業数(1年間に実施した事業数の合計)						自然・社会体験学習や異年齢交流の場としての事業が活発に行われることを期待し、活動を支援しているため、年間事業数を指標とする。	H28目標値が未達成の理由・分析									
	青少年団体活動助成事業	根拠法令		社会教育法、ボーイスカウト補助金交付要綱、ガールスカウト補助金交付要綱	H28予算現額												H28決算額(見込み)	実績	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析				
		事業の目的及び具体的な内容		市内のボーイスカウト2団及びガールスカウト2団に補助金を交付することにより、自然・社会体験学習や異年齢交流の場としての事業が活発に行われることを期待し、その活動を支援する。	180												180					①18部隊 ②190人	H28年度目標	H28実績	
		H27正規職員人件費		H27その他職員従事割合	0.02人												0.00人								H29年度目標
H28正規職員人件費		H28その他職員従事割合	173千円	0.00人	350	324																			
期間	S50年度～	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	0.02人	0.00人	172千円	0.00人	337	351	目標達成済	評価者	社会教育課長 安田 幸雄													
社会教育課	実施計画ランク	事業の種類	一般	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	PTA活動の大切さをより多くの人に知ってもらおうという考えのもと、PTA連合会の主要事業である教育講演会の参加人数を指標とする。	H28年度に改善した点	無	無											
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加		630	630			①会報発行部数(PTA) ②活動回数(連合婦人会)	教育講演会参加者数(PTA)						PTA活動の大切さをより多くの人に知ってもらおうという考えのもと、PTA連合会の主要事業である教育講演会の参加人数を指標とする。	H28目標値が未達成の理由・分析									
	社会教育関係団体補助事業	根拠法令		社会教育法、所沢市PTA連合会補助金交付要綱、所沢市連合婦人会補助金交付要綱	H28予算現額												H28決算額(見込み)	実績	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析				
		事業の目的及び具体的な内容		(PTA)子どもたちの心豊かな健全育成を図るPTA活動の理解を深めるために、市内小中学校及び県立特別支援学校の各学校単位PTAの相互交流・連携・情報交換を活発にし、研修等を通してその活動への理解が深まり、活性化するように補助金を交付し支援する。昭和26年4月発足。(連合婦人会)以前は、女性の地位向上のために、女性の社会進出や男女平等を目指した学習活動を行っていた。現在は主に生涯学習の推進、社会教育の振興及び男女共同参画などに貢献している活動が顕著であり、これらの活動に対し、補助金を交付し支援している。	630												630					①47,000部 ②115回	H28年度目標	H28実績	
		H27正規職員人件費		H27その他職員従事割合	0.16人												0.85人								H29年度目標
H28正規職員人件費		H28その他職員従事割合	1,386千円	0.00人	200人	180人																			
期間	S39～	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	0.16人	0.85人	1,372千円	0.00人	200人	200人	教育講演会については、小学校4年生の国語の教科書に掲載されている著者を講師として招いた。子どもの参加者も募集したため、保護者が子ども優先と判断し、参加者が伸びなかったことが考えられる。H27は入連との共催であったため、市外からの参加者もあり、450人となった。H28の参加者が減少したわけではない。	評価者	社会教育課長 安田 幸雄													
社会教育課	実施計画ランク	事業の種類	一般	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	成果指標の目標値を毎年達成している。多くの人数を受け入れるためにも、今後も安全面に細心の注意を払いながら、中学生・高校生・大学生リーダーの育成と指導に団体で取り組んでいく必要がある。	H28年度に改善した点	無	無											
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加		360	360			①小学5・6年生参加者数 ②中・高・大学生リーダー参加者数	定員に対する参加率(参加者数/定員×100)						より多くの人に参加してもらうため、参加率を指標としている。	H28目標値が未達成の理由・分析									
	サマースクール助成事業	根拠法令		社会教育法、所沢サマースクール実行委員会補助金交付要綱	H28予算現額												H28決算額(見込み)	実績	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析				
		事業の目的及び具体的な内容		豊かな自然環境の中で夏休みに6泊7日の長期宿泊の集団生活を通して、子どもたちの豊かな感性と自立心を養い社会性を身に付けることを目的とする。また、所沢サマースクールを支援することにより、中学生・高校生・大学生リーダーを育成し地域の教育力の向上を図る。	360												360					①98人 ②40人	H28年度目標	H28実績	
		H27正規職員人件費		H27その他職員従事割合	0.15人												0.00人								H29年度目標
H28正規職員人件費		H28その他職員従事割合	1,299千円	0.00人	100	102																			
期間	S59～	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	0.21人	0.00人	1,801千円	0.00人	100	100	目標達成済	評価者	社会教育課長 安田 幸雄													

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響		
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの
社会教育課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	本事業は、野外で絵を描く機会や家族をふれあう場を提供するだけでなく、行政・協賛企業(民間)・実行委員会(ボランティア)・学校の連携によって実施されていることに大きな意義がある。また、大会参加者数は、児童数が減少しているなかで、毎年2,000人を超えており、今後も継続して実施していく。	H28年度に改善した点	無	無
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	225	225	①作品数	作品提出率(子ども) (提出作品数/参加者数×100)		より多くの子どもたちに参加してもらえよう、作品提出率を指標とする。 毎年90%を超えることを目標とする。						
	子ども写生大会開催事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②参加者数(子ども)	H27年度目標		H27実績						
		社会教育法、文化芸術振興基本法 所沢市子ども写生大会実行委員会交付金交付要	225	225	③参加者数(高校生・一般)	H28年度目標		H28実績						
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	H29年度目標		H29実績						
		子どもたちが野外で絵を描くことによって、自然の美しさや物の形のおもしろさに親しみ、美しいと感じる心や表現力を育てることを目的に、西武園ゆうえんち及び株式会社サクラクレパスの協賛を得て、所沢市子ども写生大会を実施する。また、入賞作品展及び巡回展を開催する。	0.45人	0.00人	①1,541枚	91		91						
期間	昭和61年度～	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	②1,368人	96		96							
		0.51人	0.00人	③928人	93		93							
		4,373千円	0.00人											
社会教育課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	毎年、各地の公民館を巡回して実施している人形劇フェスティバルは、子どもたちの豊かな感受性や想像力を育み、本市青少年教育に寄与している。今後も趣向を凝らしながら継続して実施していく必要がある。	H28年度に改善した点	無	無
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	310	310	①参加団体数	入場者の満足度		当日の参加者のアンケート結果を指標とする。 作品の内容や運営など、様々な視点から精査する。						
	ところざわ人形劇フェスティバル開催支援事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②入場者数	H27年度目標		H27実績						
		社会教育法・ところざわ人形劇フェスティバル実行委員会補助金交付要綱	310	310	実績	H28年度目標		H28実績						
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	①8団体	H29年度目標		H29実績						
		参加を希望する個人または団体から実行委員会を組織し、実行委員会では自主的な企画を行う。人形劇を通して子どもたちの夢や希望、情操を育て、感受性をはぐくみ、青少年教育の振興を図る。	0.23人	0.00人	②328人	100%		100%						
期間	平成4年度～	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合		100%		100%							
		0.23人	0.00人		100%		100%							
		1,992千円	0.00人											
		1,972千円	0.00人											
視聴覚センター	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	視聴覚センターとしての役割を果たすために、資料の収集や整理、広報を確実にやっていくことで、各学校における授業の充実、教員の研修に役立っている。	H28年度に改善した点	無	無
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	215	214	①16mm映写機	16mm映写機及びフィルム		貸出件数						
	視聴覚教材・資材貸出事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②16mmフィルム	H27年度目標		H27実績						
		所沢市立視聴覚センター設置及び管理条例	466	437	実績	H28年度目標		H28実績						
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	①4件	H29年度目標		H29実績						
		【目的】①視聴覚教材・機材を活用した教育活動の支援②市民の学習意欲に応えるための視聴覚教材・機材の提供 【内容】①視聴覚教材・機材の収集、整備及び貸出し②視聴覚教育についての研修、調査及び研究③視聴覚教育の振興を図るための必要な事業	0.00人	0.00人	②27件	40		48						
期間	S57年度～	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合		40		31							
		0.16人	0.00人		40		40							
		1,372千円	0.00人											
松井まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	利用者の高齢化に伴い、自宅引きこもり等を防止するため、現在実施している事業を更に充実させる。	H28年度に改善した点	有	無
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	1,547	1,510	①年間事業数	参加者の満足度割合		主催事業に係る参加人数を基本に、事業に対する満足度を向上させる。						
	松井公民館主催事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②アンケート回答件数	H27年度目標		H27実績						
		社会教育法・所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則	1,646	1,608	③「満足」及び「ある程度満足」の回答を得た件数	H28年度目標		H28実績						
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	①25件	H29年度目標		H29実績						
		市民の学習要求に基づき、実生活に即する教育、学術、文化に関する各種事業を実施することにより、教養の向上、健康増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を目的とする。内容は次の通り。①職員あるいは市民を交えた企画準備会・実行委員会による事業の企画・立案、運営方法を等を検討する。②生涯学習情報紙及び公民館だより、チラシ等を活用して参加者を募集する。③事業終了後は、学習記録や参加者の意見、感想等を取りまとめ、次年度へ向けての検討材料とする。	1.05人	0.00人	②573件	100%		90%						
期間	S29～	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	③532件	100%		90%							
		0.90人	0.00人		100%		100%							
		7,718千円	0.80人											

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
松井まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	施設を改善したことにより、多くの市民が安全で安心して施設利用できるようになった。	H28年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	27,523	28,025	①年間利用可能区分数(公民館)	年間施設稼働率	利用者確保のため、施設修繕や安全点検を充実させる。								
	根拠法令	社会教育法・所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②年間延べ利用区分数										
	松井公民館施設提供事業	事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	③	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析							
	サークルによる各種学習活動の場として施設を提供することによって、住民の知識・教養の向上を図り、生涯学習社会の構築を目指すことを目的とする。施設利用申請にあたっては窓口申請以外にも、公共施設案内・予約システムを導入し、端末やインターネットによる予約が可能になっている。さらに予約システムを再構築し、携帯電話からの予約手続きを可能とするなど、迅速化、効率化を図った。また、利用予約の際は、利用機会の拡大を図るため一定の利用制限を(時間制限)を設けている。	0.55人	0.00人	実績	80%	56%	サークル加入者の高齢化等を理由に、登録を廃止するサークルが増え、利用実績が減少し目標値に達しなかった。また、当センターには茶道専用の茶室があり一年をとおして利用者が極端に少ないのも目標値に達しない大きな理由と思われる。								
期間	S45～	4,763千円	臨時職員	3.20人	H28年度目標	H28実績									
			H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	①25,463	80%	48%								
			0.55人	0.00人	②12,194	H29年度目標									
			4,716千円	臨時職員	3.20人	80%									
富岡まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	事業参加者の全てが満足いく事業が行えなかったが、昨年度に比べ満足度が高くなっているため、引き続きアンケート調査を行い、利用者の満足できるような事業を実施していく。	H28年度に改善した点	有	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	3,363	3,353	①主催事業数(年間事業数)	参加者の満足度割合 (「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数÷アンケート回答件数×100)	社会教育法により、多様な需要を踏まえ、これに適切に対応するために必要な学習の機会の提供及びその奨励を行うことにより、生涯学習の振興に寄与することが目的のため、どれだけ参加者が満足した事業を提供できたかを図る。								
	根拠法令	社会教育法・所沢市公民館設置及び管理条例・所沢市公民館設置及び管理条例施行規則・所沢地区体育館条例	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②事業参加者に対するアンケートの実施(アンケート回答件数)										
	公民館主催事業	事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	③アンケート結果の分析(「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数)	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析							
	市民の学習要求に基づき、教養の向上・健康の増進・生活文化の振興・社会福祉の増進を図るため、実際の生活に即する教育・学術及び文化に関する各種の事業を実施することを目的に、①職員サイドによる企画立案、あるいは市民を交えた企画準備委員会・実行委員会等を設置し、事業内容を検討。生涯学習情報紙及び公民館だよりを活用して参加者を募集する。②事業終了後は、学習の記録や参加者の意見・感想等を取りまとめ、次年度へ向けての検討材料とする。③体育館が併設されている特徴を活かし、健康体操教室や体育事業にも積極的に取り組んでいる。	0.93人	0.50人	実績	100%	89%	目標未達成 新規事業も開催したが、利用者の求めるものに答えられなかった。								
期間	S31年度～	8,054千円	臨時職員	1.60人	H28年度目標	H28実績									
			H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	①41事業	100%	93%								
			0.63人	0.45人	②537件	H29年度目標									
			5,402千円	臨時職員	1.20人	100%									
富岡まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	利用者が高齢化に伴い、団体登録しているサークル数が減ってきていることもあり、施設の利用率が上がらなかった。今後は、より利用しやすい施設の仕組みづくりが必要と考える。	H28年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	26,626	25,236	①年間利用可能区分数(公民館)	年間施設稼働率(公民館) ②年間延べ利用区分数÷年間利用可能区分数×100	公民館施設は住民の生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することが目的のため、施設がどれだけ住民に利用されているかを図る。								
	根拠法令	社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市公民館設置及び管理条例施行規則、所沢市地区体育館条例	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②年間利用区分数(公民館)										
	公民館施設提供事業	事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	③年間利用区分数(地区体育館)	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析							
	グループによる各種学習活動の場として施設を適用することにより、住民の知識・教養の向上を図り、生涯学習社会・地域社会の構築することを目的とし、公民館事業に支障のない範囲で、地域・学校・社会教育関係団体等に施設提供を行っている。利用申請方法は、窓口申請・予約システム・端末・インターネットによる予約手続きが可能となっている。また、利用予約の拡大を図るため、一定の利用制限(時間制限)を設けている。なお、本公民館の提供する部屋数は、多目的ホールをはじめ11部屋となっている。	0.43人	0.30人	実績	80%	24%	目標未達成 利用サークル数が減ってきていることもあり、部屋の利用率が上がらなかった。								
期間	S45年度～	3,724千円	臨時職員	2.10人	H28年度目標	H28実績									
			H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	①25,466区分	80%	23%								
			0.50人	0.25人	②5,780区分	H29年度目標									
			4,288千円	臨時職員	1.65人	80%									
小手指まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	概ね目標値に達成しているものの、各事業個別ではバラつきも見られたことから、市民のニーズを把握しより多くの参加者の満足が得られる事業の実施を目指す必要がある。このため、市民を交えた企画準備委員会や実行委員会を積極的に活用し、より充実した事業を実施するように進めたい。	H28年度に改善した点	有	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	6,837	6,682	①主催事業数	参加者の満足度割合 (「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数÷アンケート回答件数×100)	「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数÷アンケート回答件数×100								
	根拠法令	社会教育法	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②事業参加者に対する5段階評価アンケートの実施										
	公民館主催事業	事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	③アンケート結果の分析	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析							
	市民の学習要求に基づき、教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため、実際の生活に即する教育・学術及び文化に関する各種事業を実施する。	1.65人	0.00人	実績	98%	98%	各事業の参加者には、アンケートの提出を協力いただき、回収件数が昨年度までより大幅に増えたが、その分様々な意見が出たため、実績としては昨年度を下回った。								
期間	S26年度～	14,289千円	臨時職員	3.15人	H28年度目標	H28実績									
			H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	①46	99%	92%								
			1.40人	0.00人	②499	H29年度目標									
			12,005千円	臨時職員	2.55人	99%									

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
小手指まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	市民の集団学習活動の場として、ある程度の目的達成は果たしているが、目標である施設稼働率は伸び悩んでいる。施設の設備、立地条件など様々な要因が考えられるが、予算の可能な範囲で設備のメンテナンスを行い、安心安産で快適に利用いただけるように施設の充実に努めるとともに、様々な情報発信を心掛ける。	H28年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	27,328	22,989	① 年間利用可能区分数(公民館)	年間施設稼働率(公民館)	年間延べ利用区分数÷年間利用可能区分数×100								
	公民館施設提供事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	② 年間利用区分数(公民館)		H27年度目標	H27実績						H28目標値が未達成の理由・分析	
		社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例・同施行規則、所沢市地区体育館条例	26,600	21,555	③ 年間利用区分数(地区体育館)		H28年度目標	H28実績							
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績		H29年度目標								
集団による各種学習活動の場として施設を提供することによって、住民の知識・教養の向上を図り、生涯学習社会の構築を目指す。 所沢市立公民館設置及び管理条例第5条に基づき、公民館事業に支障のない限りで自治会、PTAなどの市民集会や社会教育団体等の活動の場として、公民館施設を提供する。		0.90人		①13,804区分	80%	50%									
期間	昭和45年度～	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	② 6,722区分	80%	49%	公民館登録団体の減少により公民館利用率が下がっている。 また、未登録団体の利用も増えていない。	評価者 小手指まづくりセンター長 佐藤 真之	車での来館者が多く、駐車場が手狭なため、非常に込み合っていることが多い。公共交通機関での来館をより一層徹底するなど駐車場対策の検討が急務である。						
小手指まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	市民の集団学習活動の場として、ある程度の目的達成は果たしているが、目標である施設稼働率は伸び悩んでいる。小手指まづくりセンター公民館分館は立地条件は良いが、駐車場が狭く施設の老朽化が進むとともに、ホールが2室ある一方、小会議室のように6～7名でしか利用できない部屋があり、他の公民館と施設構成が異なることなど様々な要因が考えられる。予算の可能な範囲で設備のメンテナンスを行い、安心安産で快適に利用いただけるように施設の充実に努めるとともに、様々な情報発信を心掛ける。	H28年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	25,751	18,908	① 年間利用可能区分数(公民館)	年間施設稼働率(公民館)	年間延べ利用区分数÷年間利用可能区分数×100								
	小手指まづくりセンター公民館分館施設提供事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	② 年間利用区分数(公民館)		H27年度目標	H27実績						H28目標値が未達成の理由・分析	
		社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例・同施行規則、所沢市地区体育館条例	26,598	19,669	③		H28年度目標	H28実績							
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績		H29年度目標								
集団による各種学習活動の場として施設を提供することによって、住民の知識・教養の向上を図り、生涯学習社会の構築を目指す。 所沢市立公民館設置及び管理条例第5条に基づき、公民館事業に支障のない限りで自治会、PTAなどの市民集会や社会教育団体等の活動の場として、公民館施設を提供する。		1.00人		①15,776区分	80%	59%									
期間	昭和60年度～	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	② 9,166区分	80%	58%	ホール、音楽ホールが絨毯敷きのため、また小会議室1・2号が6～7名定員と手狭なため、使用用途が限定されてしまい利用率が伸びない。今後、改修等で使いやすい部屋にしていく必要がある。	評価者 小手指まづくりセンター長 佐藤 真之	正面玄関のタイルを補修して利用者の安全性を高めた。和室2部屋の畳表替えと障子張替えを行い利用者の利便性を高めた。トイレ紙巻器を交換して利用者の利便性を高めた。						
山口まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	参加者のニーズを充足させようと努めているが事業内容を工夫し、参加者の興味を更にそそぐような事業を工夫していく必要がある。	H28年度に改善した点	有	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	2,775	2,597	①年間事業回数	事業参加者の満足度(事業内容に対してプラス評価を得た件数÷アンケート件数×100)	参加者が充足感を得られているか確認するため、アンケートを実施し、プラス評価の割合が100%となることとした								
	公民館主催事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②アンケート回答件数		H27年度目標	H27実績						H28目標値が未達成の理由・分析	
		社会教育法、市立公民館設置及び管理条例	2,570	2,252	③事業内容に対してプラス評価の回答を得た件数		H28年度目標	H28実績							
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績		H29年度目標								
目的 市民の学習要求に基づき各種講座を展開し、市民の知識教養の向上を図るとともに生涯学習社会の構築を目指す。 内容 第4次所沢市生涯学習推進計画に基づき、重点的に取り組む事項に即した各種事業を展開していく。各種学級・講座・イベント・つどい事業を実施し系統的な学習機会と住民相互の交流の場を提供する。地域住民のさまざまな学習・文化・スポーツ活動を支援する。		0.61人		①181回	100	94									
期間	S22～	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	②80件	100	97.5	参加者のニーズを完全には捉えきれていない。	評価者 山口まづくりセンター長 仲正之	サークルとの共催でフォークダンス教室事業を行った。						
山口まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	施設運営において施設稼働率は最も客観的指標。成果目標は高めに設定していたが、29年度は少し下げた数値に設定。	H28年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	29,525	23,730	①年間利用可能コマ数	年間施設稼働率(年間使用コマ数÷年間利用可能コマ数×100)	施設運営において施設稼働率は最も客観的指標。成果目標は高めに設定していたが、29年度は少し下げた数値に設定。								
	公民館施設提供事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②年間使用コマ数		H27年度目標	H27実績						H28目標値が未達成の理由・分析	
		社会教育法、市立公民館設置及び管理条例	23,632	22,304	③		H28年度目標	H28実績							
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績		H29年度目標								
目的 施設を提供することにより、住民の知識・教養の向上を図り、生涯学習社会の構築を目指す。 内容 ①施設に加え、各種備品の貸出をしている。②公共施設予約システムを採用し、事務室窓口の他、ロビー端末やインターネットからも施設予約を受け付けている。③利用の予約にあたっては、利用機会の拡大と均衡を図るため一定の利用制限(時間的制限)を設けている。		0.65人		①13845	80	47									
期間	S45～	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	②6445	80	47	利用サークルの高齢化や利用者ニーズが捉えきれていないことがあげられる。	評価者 山口まづくりセンター長 仲正之	サークル、他施設(ミュージズ等)共催事業を行なう等、利用率を上げる努力をした。						

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響			
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの			
吾妻まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値を達成はしているが、募集定員に達していない事業があるなど、事業の内容や周知方法など改善すべき点はある。また、予算の面から、講師謝礼の費用対効果をさらに考慮しながら事業を組み立てるよう努めていきたい。事業参加者に対するアンケートについては、アンケートを実施していない事業があるので、今後は実施するよう努めたい。また、アンケートで「やや不満」「不満など」と回答をいただいた意見を参考に事業内容を見直していきたい。	H28年度に改善した点	有	無				
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	2556	2,448	①主催事業数	参加者の満足度割合(%) 〔満足〕及び〔ある程度満足〕と回答を得た件数 ÷アンケート回答件数×100)	市民の学習要求に基づいた講座を展開し、生涯学習社会の構築を目指すことが当該事業の目的となっているため参加者の満足度割合を指標とする。目標値としては、前年より増やすことを目標としたい。	H28年度目標 96						H27実績 95			
	公民館主催事業	根拠法令	社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市まちづくり条例及び施行規則	H28予算現額	H28決算額(見込み)										②事業参加者に対する5段階評価アンケートの実施	H28年度目標 96	H28実績 99
		設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則、所沢市まちづくり条例及び施行規則	2360	2,099	③アンケート結果の分析												
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績										H29年度目標 100		
市民の学習要求に基づき各種講座を展開し、市民の知識・教養の向上を図ると共に生涯学習社会の構築を目指す。職員の企画・立案、あるいは市民を交えた企画準備委員会等を設置し、事業内容を検討する。生涯学習情報紙等を利用して参加者を募集する。事業終了後は、学習の記録及び参加者の意見・感想を取りまとめ、次年度へ向けての検討材料とする。地域コミュニティ関連の事業を中心に講座、イベント等を開催する。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	① 29件	② 725件	③ 715件												
期間	S30年度～	0.30人	0.00人	2,573千円	0.80人												
吾妻まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	成果指標の目標値に達成するよう、貸し出し手続きの改善を図る。一方で、まもなく施設が閉鎖して30年が経過し、施設設備の経年劣化が起きていることから、計画的に修繕をしながら、利用しやすく、さらなる安全な環境を維持するよう努めていきたい。	H28年度に改善した点	有	無				
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	32,460	32,019	①年間利用可能区分数(公民館)	年間施設稼働率(公民館)(%) (年間延べ利用区分数÷年間利用可能区分数×100)	集団による学習活動の場として施設を提供することにより、生涯学習社会の構築を目指すことが当該事業の目的となっているため年間施設稼働率を指標とする。目標値としては、前年より増やすことを目標としたい。	H27年度目標 80						H27実績 52			
	公民館施設提供事業	根拠法令	社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市まちづくり条例及び施行規則	H28予算現額	H28決算額(見込み)										②年間利用区分数(公民館)	H28年度目標 80	H28実績 50
		設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則、所沢市まちづくり条例及び施行規則	32,200	30,524	③												
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績										H29年度目標 80		
集団による学習活動の場として施設を提供することにより、市民の知識・教養の向上を図り、生涯学習社会の構築を目指す。施設の利用申請は、平成11年度からは、公共施設案内・予約システムを導入し、ロビー端末機等による予約手続きが可能となり、平成18年、25年と予約システムを更新し、インターネットの利用も可能となっている。利用予約の際は、特定の団体の独占を回避し、市民の利用拡大を図るため、一定の利用制限(時間制限)を設けている。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	① 35,488回	② 17,645回	③												
期間	S46年度～	0.60人	0.00人	5,145千円	3.30人												
柳瀬まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	前年度に対し実績が向上したことに伴って、事業内容の見直しを行い、参加者の満足度が高い事業を実施することができた。	H28年度に改善した点	有	無				
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	3,558	2,991	①主催事業	参加者の満足割合	事業参加者の満足割合から、實際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種事業を、企画・立案し開催できているか、推し量るもの。	H27年度目標 100						H27実績 96			
	公民館主催事業	根拠法令	社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則	H28予算現額	H28決算額(見込み)										②事業参加者に対する5段階評価アンケートに実施	H28年度目標 100	H28実績 99
		設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則	3,219	2,915	③アンケート結果の分析												
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績										H29年度目標 100		
①職員による事業の企画・立案、あるいは市民・公民館利用団体を交えた企画準備会または実行委員会により、事業の企画・立案、運営方法等を検討する。 ②生涯学習情報紙及び公民館だより、チラシ等を活用して参加者を募集する。 ③事業終了後は、学習の記録や参加者の意見・感想等をまとめ、次年度の検討材料とする。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	①年間事業数 27	②アンケート回答件数 166	③「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数 163												
期間	S46年度～	0.91人	0.70人	7,803千円	0.60人												
柳瀬まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	施設用品が傷み、修繕・買い替えが必要な箇所があり、引き続き利用者に安全で快適に施設を利用してもらうため、最低限現状どおりの予算の確保が必要である。	H28年度に改善した点	無	無				
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	28,428	24,927	①年間利用可能区分数(公民館)	年間施設稼働率(公民館)	前年度実績をもとに、集団による各種学習の場として適切な施設提供を行い、より多くの地域住民が学習の場として利用できるよう、目標を設定する。	H27年度目標 40						H27実績 35			
	公民館施設提供事業	根拠法令	社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則	H28予算現額	H28決算額(見込み)										②年間利用区分数(公民館)	H28年度目標 40	H28実績 33
		設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則	27,947	25,667	③年間利用区分数(地区体育館)												
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績										H29年度目標 40		
集団による各種学習の場として施設を提供することによって、住民の知識・教養の向上を図り、生涯学習の構築を目指す。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	①13,571	②4,429	③3,375												
期間	S46～	0.60人	0.30人	5,145千円	2.70人												

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響						
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの						
新所沢東まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	事業の参加状況・満足度は良好で、好評である事業については、継続することに意義があると同時に、多種多様な社会状況により、時宜を得た講座が求められ、公民館の役割は、益々重要な位置づけにあることがうかがえ、常に改善の意識をもって取り組んでいく。	H28年度に改善した点	有	無							
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	2,123	2,045	①主催事業 ②事業参加者のアンケート回答件数 ③アンケートで「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数	参加者の満足度割合 (「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数 ÷ アンケート回答件数 × 100)	H27年度目標	H27実績			H28年度目標			H28実績	アンケートの集計結果は、「満足」と「ある程度満足」が98パーセント、「普通」は2パーセント、「やや悪い」と「悪い」0パーセントであった。途中退室や急いで帰る方などがおり、参加者全員からのアンケートは回収できた訳ではないが、回答者の9割以上が満足しており、おおむね好評である。	市民の学習要求を満たすために、市民を交えた企画準備会を行い、事業の実施に繋げた。				
	公民館主催事業	根拠法令 社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則、所沢市まちづくり条例及び施行規則	H28予算現額	H28決算額(見込み)													2,068	1,825	H27年度目標	H27実績
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	1.05人	0.00人	H27年度目標	H27実績			H28年度目標			H28実績	実績	100	92	100	98	現段階でも100パーセントに近い満足度を得ているので、現状を維持しつつ、地域の実情を促す講座の充実を図る。
	目的	市民の学習要求に基づき、教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を実施。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	9,093千円	1.00人	H27年度目標	H27実績			H28年度目標			H28実績	①30事業	100	98	100	98	
	具体的な内容	職員による事業の企画・立案あるいは市民を交えた企画準備会または実行委員会により、事業の企画・立案・運営方法を検討する。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	1.05人	0.00人	H29年度目標	H29実績			H28年度目標			H28実績	②398件	100	98	100	98	
期間	S52年度～			9,004千円	1.00人					③391件	100	98	100	98						
新所沢東まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	利用する時間帯が集中し、全体の稼働率としては低いが、今後も施設の老朽化に伴い、修繕が必要な場合があるため、可能な範囲で対応を図り、利用者が気持ちよく利用できることに努める。日常の点検を怠らないことを念頭に施設管理をする。	H28年度に改善した点	無	無							
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	25,372	14,269	①年間利用可能区分数(公民館) ②年間利用区分数(公民館)	年間施設稼働率(公民館) 年間延べ利用区分数 ÷ 年間利用可能区分数 × 100	H27年度目標	H27実績			H28年度目標			H28実績	使用したい曜日が集中しているため、稼働率が低くなっている。また、平成28年度は大規模な空調設備の修繕があり、4カ月間の休館となった。そのため、休館前から他館で活動する団体が増え、再開後もそのまま他館で活動する団体があつたのも稼働率が低くなっている要因である。	以前から状態の悪かった空調設備の改修工事を行い、学習活動の場の環境を整備した。				
	公民館施設提供事業	根拠法令 社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市まちづくり条例及び施行規則	H28予算現額	H28決算額(見込み)													21,817	15,127	H27年度目標	H27実績
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	1.55人	0.00人	H27年度目標	H27実績			H28年度目標			H28実績	①13,330区分	80	48	80	46	
	目的	集団による各種学習活動の場として施設を提供することによって、住民の知識、教養の向上を図り、生涯学習の構築を目指す。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	13,423千円	2.00人	H27年度目標	H27実績			H28年度目標			H28実績	②6,149区分	80	48	80	46	
	内容	平成18年10月から新公共施設予約システムが稼働し、窓口以外にロビー端末機・インターネット・携帯電話による予約手続きができ、利用申し込みも24時間可能となっている。利用予約の際は、利用機会の拡大を図るため、一定の利用制限(時間制限)を設けている。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	0.55人	0.00人	H29年度目標	H29実績			H28年度目標			H28実績		80	48	80	46	
期間	S52年度～			4,716千円	2.00人						80	48	80	46						
所沢まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	地域課題や市民の学習要求に基づく事業実施を目的としているため、事業参加者の満足度を指標とする。	H28年度に改善した点	有	無							
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	1,600	1,509	①主催事業数 ②アンケート回答件数 ③「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数	事業参加者の満足度 (「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た割合)	H27年度目標	H27実績			H28年度目標			H28実績	地域課題や市民の学習要求に基づく事業実施を目的としているため、事業参加者の満足度を指標とする。	まちづくりセンターだよりの発行頻度を増やし、地域住民へ公民館事業を周知する機会を増やすことができた。				
	公民館主催事業	根拠法令 社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例	H28予算現額	H28決算額(見込み)													1,532	1,384	H27年度目標	H27実績
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	1.10人	1.65人	H27年度目標	H27実績			H28年度目標			H28実績	①23	95	90	95	90	参加者の期待を十分には満たすことができなかったことによる。
	目的	地域課題と市民の学習要求に基づき、教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を実施する。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	9,526千円	1.65人	H27年度目標	H27実績			H28年度目標			H28実績	②534件	95	90	95	90	
	具体的な内容	職員による事業の企画・立案あるいは市民を交えた企画準備会または実行委員会により、事業の企画・立案・運営方法を検討する。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	1.00人	1.65人	H29年度目標	H29実績			H28年度目標			H28実績	③481件	95	90	95	90	
期間	S28年度～			8,575千円	1.65人						95	90	95	90						
所沢まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	施設提供を通じて、住民の学びあい、さらには地域づくりの場を目指すため、施設稼働率を指標とする。	H28年度に改善した点	無	無							
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	50,210	51,837	①年間利用可能区分数 ②年間利用区分数 ③	年間施設稼働率 (年間利用区分数 ÷ 年間利用可能区分数 × 100)	H27年度目標	H27実績			H28年度目標			H28実績	施設提供を通じて、住民の学びあい、さらには地域づくりの場を目指すため、施設稼働率を指標とする。	中心市街地に所在し、登録団体数も280を超える状況にあるが、高齢化が進み、活動を停止する団体も見られ、登録団体数が減少傾向にある。成果指標の年間施設稼働率が目標値に達しておらず、施設提供のあり方について見直しの必要性がある。				
	公民館施設提供事業	根拠法令 社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例	H28予算現額	H28決算額(見込み)													49,464	49,736	H27年度目標	H27実績
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	0.95人	3.55人	H27年度目標	H27実績			H28年度目標			H28実績	①25,666区分	80	69	80	66	
	目的	集団による各種学習活動の場として施設を提供することにより、住民の学びあいを支援し、学習活動を通じた地域づくりの場を目指す。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	8,227千円	1.65人	H27年度目標	H27実績			H28年度目標			H28実績	②16,862区分	80	69	80	66	
	具体的な内容	職員による事業の企画・立案あるいは市民を交えた企画準備会または実行委員会により、事業の企画・立案・運営方法を検討する。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	1.10人	3.55人	H29年度目標	H29実績			H28年度目標			H28実績	③	80	69	80	66	
期間	S28年度～			9,433千円	3.55人						80	69	80	66						

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
所沢まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	年間を通して、土日に多くの催事が実施され、円滑にホール運営、安全管理業務が実施された。また、災害時の安全管理面の強化を目的に、市内施設で初めてとなる避難訓練コンサートを当事業の受託先であるNPO法人シアターサボが中心となって実施した。	H28年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	800	778	①土、日曜日の催事にかかる委託日数	委託依頼割合(土、日曜日の委託日数÷土、日曜日の日数×100)	ホールが多様な市民の催事に活用され安全に利用されることが目標であるため、委託依頼割合を指標とする。一方、中央公民館の登録団体がホールでのサークル活動も行えるよう、すべての土、日に催事が入ることの無いように配慮もしている。								
	根拠法令	社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析							
	事業の目的及び具体的な内容	当公民館ホールは、座席数350席を有し、充実した舞台設備と中心市街地に立地する特性から、週末を中心にコンサート等の催事の利用が多い。このため、ホールの安全管理に支障を来すことが無いように土・日曜日のホール運営について業務委託を行うものである。なお、委託先は、開館当初からホールの舞台操作にボランティアとして活動している市民が構成員となっているNPO法人シアターサボである。	1,113	1,080	③	H28年度目標	H28実績	目標達成済み							
	期間	H27年度～	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	H29年度目標	H29実績								
並木まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値をほぼ達成している。講座の受講率でも高い割合を維持している。	H28年度に改善した点	有	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	4,562	4,645	①年間事業数	左記アンケートで「満足及びある程度満足」と回答した割合(%)	「満足及びある程度満足」と回答した数÷アンケート回答数×100								
	根拠法令	社会教育法、所沢市公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②講座終了後のアンケート回答数	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析							
	事業の目的及び具体的な内容	市民の学習要求に基づき、各種学習、講座を展開することにより、市民の学習意欲の向上、社会教育の推進及び住民自治の醸成を図る。生活課題、地域課題、生活を豊かにする学習等について、系統だった学習内容、方法を職員により企画立案、あるいは市民を交えた企画準備委員会、実行委員会等を設置して事業内容を検討。広報や市ホームページ等の掲載及び公民館だよりを発行して参加者を募集し実施する。	5,128	4,833	③アンケート結果で「満足及びある程度満足」と回答を得た件数	H28年度目標	H28実績	受講してみないと講座の水準がわからないため、受講者と講座内容のレベルの差を予め把握することが困難である。							
	期間	S58年度～	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	H29年度目標	H29実績								
並木まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	目標値を下回っているもの、利用実績に大幅な減少が見られないため。	H28年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	21,360	18,289	①年間利用可能区分数(1日6区分(月曜日は4区分)×部屋数×開館日数)	年間施設稼働率(%)	年間延べ利用区分数÷年間利用区分数×100								
	根拠法令	社会教育法、所沢市公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②年間延べ利用区分数	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析							
	事業の目的及び具体的な内容	集団(サークル)による各種学習の場として施設を提供することによって、住民の学習意欲の向上と社会教育の推進を図り住民自治の構築を目指す。施設利用申請にあたっては窓口申請以外にも、平成11年度からは公共施設案内・予約システムを導入し、ロビー端末やインターネットによる利用予約手続きが可能になっている。さらに25年度において予約システムを再構築し、携帯電話への対応など、迅速化、効率化を図った。	23,376	18,012	③	H28年度目標	H28実績	部屋ごとに使用目的の制約(部屋の広さ、設備等)があるため、均等な部屋の利用は困難である。施設の老朽化、交通の利便性の悪さ、駐車場の少なさも要因の一部にある。							
	期間	S58年度～	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	H29年度目標	H29実績								
社会教育課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	社会教育に携わる職員のスキルアップや資質向上を図る機会として、研修内容を充実させることができた。今後も、社会教育に携わる職員1人ひとりが、市民の高度な要求や期待に応えられるよう、今後も継続して実施する必要がある。	H28年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	30千円	30千円	①参加者数	アンケートの満足度	研修内容に関して「とても良かった」「良かった」の割合								
	根拠法令	社会教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律、地方公務員法	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析							
	事業の目的及び具体的な内容	社会教育の課題となるテーマや社会教育関係職員に必要とされる専門知識や技能等を身につけ、職員の資質向上を図る研修とする。講義形式だけでなく、グループワークや体験実習等も取り入れる。	30千円	15千円	③	H28年度目標	H28実績	目標達成済み							
	期間	平成7年度～	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	H29年度目標	H29実績								

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの
所沢図書館	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標はほぼ達成できており、達成できなかった理由については、明確に把握できている。多様な課題を解決するための、幅広く質の高い資料等の収集・整備を行っている。また、一定期間を経過した資料については、資料の新鮮度を保つため除籍し、学校等公共機関及び市民の方へのリサイクル図書として提供を行っている。	H28年度に改善した点	無	無
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	78,810千円	76,026千円	①蔵書数(図書・雑誌・紙芝居・視聴覚資料)	資料回転率 (年間貸出数÷蔵書数(貸出禁止資料除く))	幅広く質の高い資料等の収集・整備を行い、利用者に提供するという目的が実現できているかを図る数値として、資料の回転率を指標とした。人口規模が同一の市立図書館で、資料回転率が平均「2」であることから、目標値を「2」に設定した。(『日本の図書館』より全国平均を算出)						
	図書資料等収集整備事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②年間資料受入数	実績	H27年度目標	H27実績					
		図書館法、所沢市立所沢図書館設置条例、同施行規則	77,097千円	74,674千円	③年間除籍数		H28年度目標	H28実績					
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	①1,014,329点		H29年度目標	図書等取次サービスを実施しているコンビニエンスストアが、店内改装等取次店舗側の事情による取次業務停止により、年度当初より1店舗減となったこと、また、狭山ヶ丘分館が施設改修工事のため1か月間臨時休館したことなどから、年間貸出数が減少したため。					
		市民の調査研究、教養、レクリエーション等に資する図書資料、情報の収集を行い、利用者に提供することを目的とする。具体的には以下の通り。 ①資料収集 資料収集方針に基づき蔵書構成を考慮し、資料を選択収集する。②資料保存 残すべき資料を選び、次の世代・時代に受け継いでいく。③資料管理 電算システムにより、管理を行なう。④資料整理 資料に書誌(分類・書名・著者・金額等)データを付与し、フィルムコーティング等の装置を行う。⑤資料除籍 除籍資料は、幼稚園・小中学校等公共施設及び市民にリサイクルする。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	②36,439点		H27年度実績						
期間	昭和39年～	6.30人	0.00人	③19,166点	H28年度実績	2							
		54,023千円	0.00人		H29年度実績	2							
所沢図書館	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	店舗側の事情により取次停止となった店舗があったため、全体の実績は減となったが、3店舗では貸出数が増加している。今後も非来館型サービスの中核として、サービスポイントの拡充、広報等の充実に努め、更なる利用拡大を図る。	H28年度に改善した点	無	無
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	9,914千円	8,420千円	①年間貸出利用者数	年間貸出数	市民が、コンビニエンスストア図書等取次サービスを活用していることを示す数値として年間貸出数を指標とする。過去5年間で利用が活発であった年度の数値を目標とし、事業の拡大を図りたい。						
	コンビニエンスストア図書等取次事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②年間貸出数	実績	H27年度目標	H27実績					
		図書館法、所沢市立所沢図書館設置条例、同施行規則	9,537千円	8,208千円	①50,222人		H28年度目標	H28実績					
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	②68,443点		H29年度目標	店内改装等取次店舗側の事情による取次業務停止により、年度当初7店舗だった取次店舗数が1店舗減となったため。					
		図書館の開館時間内の利用や来館が困難な市民等に対し、コンビニエンスストアで図書等の取次を行い、図書館利用の拡大を図る。インターネット、図書館窓口、館内OPAC等から図書等の予約を受け付け、用意できた際に、電子メール又は電話にて連絡し、貸出処理をして取次店へ配送。利用者は、当該予約図書等を取次店で受取・返却できる。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	①50,222人		H29年度実績						
期間	平成17年～	0.76人	0.00人	②68,443点	H28年度実績	82,562点							
		6,517千円	3.75人		H29年度実績	68,443点							
所沢図書館	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標値をほぼ達成しており、H28年度は乳幼児とその保護者、学校等を中心に周辺機関との連携と利用拡大をすすめた。今後も所沢市第2次子どもの読書活動推進計画のさらなる推進に向けて努めていきたい。	H28年度に改善した点	無	無
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	2,333千円	2,329千円	①子ども向け行事参加者数	児童資料貸出数(年間児童資料貸出数)	過去5年間で最も高い平成24年の貸出実績が511,624冊であったことから、この数値を目標とし、サービスの維持・向上を図る。						
	子どもの読書活動推進事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②学校関連団体貸出数	実績	H27年度目標	H27実績					
		図書館法、所沢市立所沢図書館設置条例、同施行規則	2,333千円	2,116千円	①15,876人		H28年度目標	H28実績					
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	②22,658冊		H29年度目標	平成28年度は狭山ヶ丘分館が施設改修工事のため約1ヶ月の臨時休館をしたこと、学校団体貸出が前年度より減少したことが要因であると考えられる。					
		子ども達が読書の楽しみを知り、自主的に読書活動を行うことができるよう、「第2次所沢市子どもの読書活動推進計画」に基づいて子ども向け事業、学校との連携事業等を実施し、利用の拡大を図る。①子どもの読書活動推進連絡会の開催②おはなし会・かがくあそび等子ども向け行事の開催③一般向け普及・啓発事業の開催④学校との連携事業の実施⑤小中学生・保護者に読書アンケートの実施⑥学校業務連絡便の運行⑦ブックリスト「本がいっぱい」の発行、小中学校への配布⑧子ども向け広報紙の発行	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	①15,876人		H29年度実績						
期間	昭和39年～	1.55人	0.80人	②22,658冊	H27年度実績	488,789冊							
		13,423千円	2.40人		H28年度実績	484,510冊							
		16,207千円	2.40人		H29年度実績	512,000冊							
所沢図書館	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標値は、ほぼ達成しており、魅力ある事業の展開、広報活動への積極的な取り組みや、地域との連携、市民協力の「図書館まつり」などを開催し、図書館への興味・関心の喚起に努めた。	H28年度に改善した点	無	無
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	11,432千円	11,293千円	①登録者総数(前年の登録者総数+年間登録者数-年間抹消者数)	貸出密度(人口1人当たりの貸出数)	図書資料等の貸出は、市民に活発に利用されていることを示す指標の一つであることから、貸出密度を指標とする。年間貸出数を当該年度の人口で割り、1人当たりの貸出数を算出。人口30万人以上、40万人未満の市立図書館18館の人口1人当たりの平均貸出数5.1冊を参考に、実績から目標値を設定し、事業拡大を図りたい。(『日本の図書館』2016より平均貸出数を算出)						
	図書館利用推進事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②年間貸出利用者数	実績	H27年度目標	H27実績					
		図書館法、所沢市立所沢図書館設置条例、同施行規則	11,563千円	10,729千円	③年間貸出数		H28年度目標	H28実績					
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	①113,988人		H29年度目標	図書館の開館時間内の利用や来館が困難な市民等に対して実施している、コンビニエンスストア図書等取次事業において、取次店舗側の事情により取次業務を停止した店舗があり、また、狭山ヶ丘分館が施設改修工事のため1か月間臨時休館したことなどから、年間貸出数が減少したため。					
		市民に、図書館に親しみをもって有効に利用してもらうため、インターネット及び広報等で情報を広く提供し、読書活動の推進及び利用の拡大を図る。①図書館のホームページ、「今月の図書館」等広報紙を発行し、図書館の事業や利用案内等の情報を利用者に周知する。②講演・講座、図書館まつり(年1回)等の催しを開催する。③季節やテーマに応じた、図書資料の紹介・展示を行う。④他の公共施設や地域に対し共同事業等を実施し、連携を図る。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	②575,524人		H29年度実績						
期間	昭和39年～	4.90人	0.20人	③1,676,823点	H27年度実績	5点							
		42,434千円	5.70人		H28年度実績	4.9点							
		37,216千円	5.70人		H29年度実績	5点							

